

平成 24 年度森林総合研究所北海道支所研究評議会

開催場所：森林総合研究所北海道支所 大会議室

開催日時：平成 25 年 3 月 1 日（金）14：00～16：30

評議会委員：平野 均一郎 委員（北海道森林管理局計画部長）

佐藤 冬樹 委員（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授）

安齋 保 委員（下川町長、欠席）

北海道支所出席者：支所長、産学官連携推進調整監、地域研究監、研究グループ長（5）
研究チーム長（4）、庶務課長、連絡調整室長

北海道育種場出席者：連絡調整課長、育種研究室長

開会の挨拶に続き北海道支所から、主な活動報告として 1) 組織機構、2) 研究予算、3) 研究推進、4) 広報活動、5) 地域連携について説明を行った。続いて、主要研究取組状況報告として、地球温暖化防止にからみ「森林の CO2 吸収と放出より正確な科学的知見を得るために一」と題して担当者が発表、説明した。質疑応答につづいて、昨年の指摘事項と対応方針について説明した。この後、オブザーバーとして参加している北海道育種場から組織、業務内容の概要説明と平成 24 年度のトピック等についての紹介が行われた。これらの説明のあと評議会委員から以下のような意見やアドバイスが出された。

- ・国有林の一般会計化に伴い、国有林のフィールド、蓄積を生かしながら地域林業再生に貢献する必要があるので、引き続き、支所には一般会計化後も重点化課題となるコンテナ苗活用による低コスト化、北海道型作業システムに適した路網計画、天然林管理手法開発等において、強力な研究支援をお願いしたい。

- ・北海道特有の針広混交林資源回復のための研究開発を進めて欲しい。具体的にはウダイカンバ等の有用樹種を含む多様な森林の更新につながる技術開発が望まれる。

支所からはこれらのご意見に対して現状の取組状況や今後の方針等の説明を行った。